

# clarion



## Clarion Report 2011

会社概況 ● CSRレポート



クラリオン株式会社

# clarion

本社・技術センター 〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2 TEL:(048)601-3700

本社事務所 〒330-6030 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2 ランドアクシスタワー30F TEL:(048)601-3700

<http://www.clarion.com/>



このレポート10,000部を印刷・製本する際に排出されたCO<sub>2</sub>排出量149.6kgは、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通過し、福島県南相馬市の企業により削減された排出権(国内クレジット)によってカーボンオフセットされ、地球温暖化防止に貢献します。  
証明書番号:11061608030103

## クルマと地球の未来を拓く、 環境先進企業をめざして



クラリオン株式会社  
取締役社長

泉 龍彦

現在、我々は地球規模での大きな危機的な環境変化の波に直面しています。

地球温暖化はもとより、エネルギーや食料等の資源までも課題としてあがっています。

世界中の人々がそれらの課題に対処するために、意識の転換やダイナミックな環境対策をしなければいけない時期にきています。

一方、我が国においては東日本大震災による未曾有の津波災害と放射能禍に直面し、世界中からのご支援をいただき、全国民挙げて復興を進めています。

将来に向けて日本という国が存続し、世界発展のリーダーシップをとっていくためには、この大震災を一過性の不幸な自然災害として捉えるのではなく、これをきっかけに日本も社会もそして一人ひとりの気持ちも変えていく必要があります。そしてより明るい未来の構築に向けた力へと転化させなければいけません。

### 時流を捉えたグローバル戦略

世界中が大きく変革しつつあるこの時期において、世界各地域では新たな、そして多様なビジネスチャンスが次々と生まれています。すなわち世界全体が大きな潜在力を有するマーケットへと変貌しています。

そのような中、今回の東日本大震災の影響下、世界の中で日本に対する眼は厳しくなっています。グローバルにおいて日本企業がどれだけ貢献出来るか、日本発信ではなく世界市場のそれぞれのマーケットを見据えた活動、すなわち現場に根付いた活動が求められています。

クラリオンは企業文化として「世界の中で必要とされるClarionになる」ことをめざしてきました。それは裏を返せば「世界が望むことに対して、我々企業としてスピーディーに応える」という使命を果たすことによって達成できるものです。

その意味でも正に「クラリオンが力を最大に発揮できる時代が来た」と捉えています。クラリオンは将来をしっかりと見据え、時代の先を行く製品を世の中に提供するとともに、新たなマーケット開拓を積極果敢に進めてまいります。

### 人と環境にやさしい次世代の商品開発

環境保護については、既に全世界でその重要性が認知され、それをどの様に実行していくかという段階に入りましました。我々が所属する自動車業界においても各社それぞれ商品化のみならず、それを取り巻く生活範囲にまで開発の幅を広げ、ダイナミックに活動を始めています。

電気自動車にはエネルギーフローの情報やチャージステーションへのナビゲート情報、スマートグリッド化に対応したネットワーク情報など新たな情報が必要であることから、クラリオンではハイブリッド車や電気自動車など、エコカーが主流になる時代を見据えた情報端末を他社に先駆けて製品化しました。

特に、世界的に拡大していく電気自動車への対応において他社を大きくリードするポジションを確保しています。

また、通信環境の進化とスマートフォンの拡大というトレンドに対応するべく、車載AV機器とスマートフォンを発展的に連動させることによって、車の中でユーザーベネフィットを高めるシステムも開発しています。そして、画像処理技術を駆使した安全運転の支援に加え、ナビゲーションと車両制御を連動させた安全運転なども実現するなど、今後ともこれらの分野を強化し、安全かつ人や環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

### 持続可能な社会をめざして

現在、地球が直面している最も重大な環境問題である温暖化現象は、国境を越えたグローバルな形で現れ、それは異常な勢いで進んでいます。急速な地球環境の変化に伴い、持続可能な循環型社会の実現に向け、環境問題への取り組みは企業の社会的責任として重要性を増してきています。

クラリオンでは、この環境問題を経営課題として位置づけ、商品開発など企業活動全般にわたり、環境経営を実践しています。また、日立グループの環境行動計画を土台とした、クラリオン独自の行動計画をグローバルに展開し、海外での環境経営も推進しています。我々クラリオンがめざす「真に世の中から必要とされる企業」になるために、こうした環境への配慮や取り組みは企業の使命であると考えているからです。

### ステークホルダーの皆様へ

#### お客様へ

社会の変化と技術の進化の中でお客様のニーズをいち早く察知し、先進的な機能を盛り込んだユニークな商品を提供してまいります。また、お客様に大きな満足と安心と喜びを感じていただけるような商品づくりに努めてまいります。

#### 株主の皆様へ

クラリオンは、企業体質を根本から変え、筋肉質の企業に変貌を遂げております。東日本大震災を経験し、さらなる向上に努め、今後も高い目標へとチャレンジし続けてまいります。

#### 取引先の皆様へ

クラリオンは、グループ一丸となって、環境対応車やネットワーク化への対応といった新たな領域に足を踏み出してまいります。市場環境の変化、グローバル化、テクノロジーの進歩など、私たちを取り巻く状況が加速度的に変化するなか、いち早く動ける体制を構築し日々行動しております。クラリオンは今後も考え、迅速に行動してまいります。そして、ブランドスローガンであるClarion H.M.I. (Clarion Human Mobile Music Media Interface)をもとに、さらなる音と人間のより良きつながりを追求してまいります。

これらを約束し、ステークホルダーの皆様にご満足いただくためには、従業員意識の統一が欠かせません。皆様の目に映る「Clarion」ブランドが、追い求めるビジョンと重なり合うよう、クラリオンはグループ内におけるインターナルブランディングにも力を注いでまいります。

### クラリオン企業理念

#### 基本理念

クラリオンは、音と情報と人間のより良きつながりを追求し、価値ある商品を生み出すことにより、豊かな社会づくりに寄与します。

#### 経営姿勢

- 優れた製品とサービスを提供し、お客様に満足と喜びをおくる。
- 独自の発想と技術により、新たな価値を創造する。
- 個々の人間性と能力を尊重し、自由闊達な風土を作る。
- 人と社会と自然の調和を図り環境維持につとめる。
- 地域社会の発展のために、企業市民としての責任を全うする。
- 適正な利潤の確保により、継続的な成長を果たす。

#### 行動指針

- 私たちは、
- 常に勇気を持って自らを革新し、高い目標に「挑戦」します。
  - 常に新しい価値を生み出す夢と感動を「創造」します。
  - 常に人々の信頼に応えるために、「誠意」を尽くします。

### 企業ビジョン

移動空間における音と情報通信のつながりを独自の発想と先進技術で、新たな領域まで進化させます。そして世界中のお客様へ安心・安全・快適・感動を提供していきます。私たちは業界の先端を走り続け、市場ニーズを的確に捉え将来にわたる成長をめざします。



Clarion H.M.I. (ブランドスローガン)  
「Clarion Human Mobile Music Media Interface」  
音と情報を移動空間に結びつけることで、もっと楽しく、快適な空間に進化させていく。クラリオンは、そのインターフェースとなることをめざします。

「Move Forward Unique Exciting」(ブランド行動指針)  
一歩進んだユニークな着想と機を捉え行動力、ワクワクするカーライフを提案する。

# 会社概況 | COMPANY PROFILE

「クラリオンは、音と情報と人間のより良きつながりを追求し、  
価値ある商品を生み出すことにより、豊かな社会作りに寄与します。」  
(「基本理念」より)

## CONTENTS

### ● 会社概況

- 概要／財務ハイライト … P04
- グローバルネットワーク … P05
- 車載情報通信機器／車載音響機器／業務用車載機器／グローバル市場で高い実績を誇るOEMビジネス展開 … P07
- 技術開発 … P09
- 品質管理 … P13
- 沿革 … P15
- コミュニケーション活動 … P17
- We are Clarion … P19

### ● CSRレポート

- CSRレポート … P23
- 環境レポート … P37
- 「クラリオンレポート2011」第三者意見 … P45

## Clarion 概要

### 会社概要 (2011年3月31日現在)

商号	クラリオン株式会社 Clarion Co., Ltd.
本社・技術センター	〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 7-2 電話 048 (601) 3700
本社事務所	〒330-6030 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2 電話 048 (601) 3700
設立年月日	1940年12月18日
資本金	26,100百万円
発行済株式総数	282,744 千株
売上高	連結 178,318 百万円 (2011年3月期) 単独 136,854 百万円 (2011年3月期)
従業員数	連結 8,842 名 単独 1,486 名 (※出向者は除く)
主要製品	カーナビゲーション、カーオーディオ、 車載用カメラ、映像機器、バス機器、通信機器

### 役員 (2011年6月24日現在)

取締役社長	泉 龍彦
常務取締役	吉峰 徹郎
常務取締役	金子 徹
取締役	笠井 成志
取締役	川本 英利
取締役	河元 哲史
取締役	本田 恭彦
取締役	篠崎 雅継
常勤監査役	滝沢 克俊
監査役	藤村 一路
監査役	笹井 保大
監査役	山ノ川 孝二

\*取締役 本田恭彦および篠崎雅継の各氏は、社外取締役であります。  
\*監査役 笹井保大および山ノ川孝二の各氏は、社外監査役であります。

### 主要取引金融機関

りそな銀行  
みずほコーポレート銀行  
三井住友銀行  
三菱東京UFJ銀行

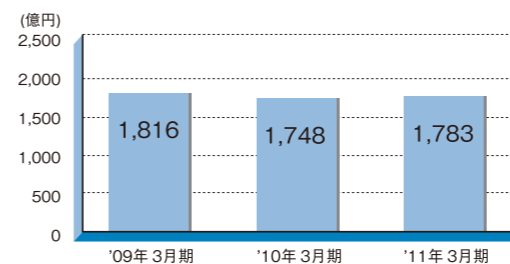
### 加盟団体

日本自動車車体工業会

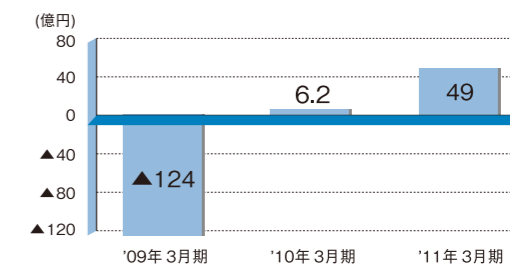
## 財務ハイライト

### 財務ハイライト(連結)

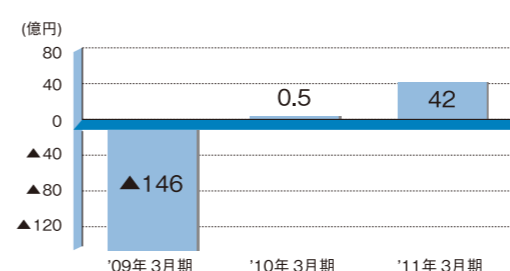
#### ■ 連結売上高



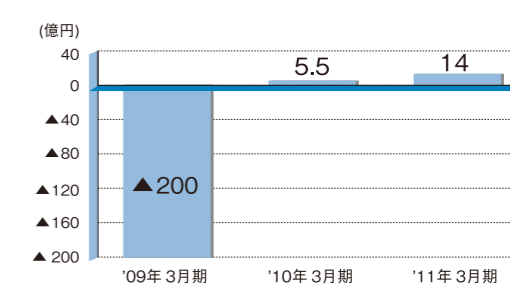
#### ■ 連結営業利益



#### ■ 連結経常利益

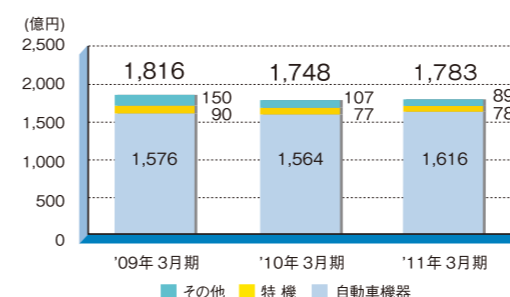


#### ■ 連結当期純利益

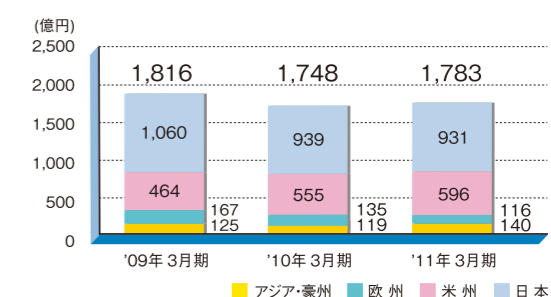


### 売上高内訳(連結)

#### ■ 商品事業別



#### ■ 地域別



# 世界中のニーズを網羅するクラリオンのグローバルネットワーク

クラリオンでは商品ドメインである車載情報通信機器を中心に、世界のマーケットをカバーする高度なグローバルネットワークを展開、さまざまな国や地域のニーズを的確に反映した高品質の製品・サービスにより、世界中のお客様と強固なリレーションシップを築いています。また、あらゆる地域において最新の商品・最高のサービスをタイムリーに提供すべく、常に顧客対応力や生産性の向上など現地体制の強化を推進しています。こうした継続的・積極的なグローバル戦略を背景に、「Clarion」ブランドはいまや世界のマーケットへ確実に浸透しています。



クラリオン本社・技術センター

## 主要拠点・関連会社 (2011年4月1日現在)

### 国内

- クラリオン株式会社 (CT)
- クラリオンセールスアンドマーケティング株式会社 (CSM)
- クラリオンマニュファクチャリングアンドサービス株式会社 (CMS)
- クラリオンアソシエ株式会社

### アジア / オセアニア エリア

- Clarion (H.K.) Industries Co., Ltd. (CHI)
- Dongguan Dongkeng Clarion Electronics Factory (DDCE)
- Dongguan Clarion Orient Electronics Co., Ltd. (DCOE)
- Xiamen Clarion Electrical Enterprise Co., Ltd. (CXEE)
- Clarion (Malaysia) Sdn., Bhd. (CM)
- Crystal Precision (Malaysia) Sdn., Bhd. (CPM)
- Clarion Asia (Thailand) Co., Ltd. (CAT)
- Clarion (Taiwan) Manufacturing Co., Ltd. (CTC)
- Clarion Australia Pty. Ltd. (CAP)

### アメリカ エリア

- Clarion Corporation of America (CCA)
- Zandiant Technologies, Inc. (ZTI)
- Clarion Canada Inc. (CCI)
- Electronica Clarion, S.A. de C.V. (ELECLA)
- Ultra Industrial S.A de C.V. (ULTRA)
- Clarion do Brasil Ltda. (CBL)

### ヨーロッパ エリア

- Clarion Europe S.A.S. (CEF)
- Clarion Europa G.m.b.H. (CED)
- Clarion (G.B.) Ltd. (CGB)
- Clarion Hungary Electronics Kft. (CHE)

## Asia/Oceania Region

## American Region

## European Region



DCOE (Shanghai Office)



CXEE (生産)



CXEE (開発)



DDCE



CM/CPM



CAT



CAP



CCA



ELECLA



CCA (Michigan Office)



CCA (Kentucky Office)



CCI



CGB



CEF (Head Office)



CHE



CED

- 販売会社
- 生産会社
- 開発会社
- クラリオン本社拠点
- 関係会社
- 販売代理店

# 車載分野をリードする次世代プロダクト

クラリオンは、安心・安全や快適だけでなく、クルマに新たな感動と満足を生み出すClarion H.M.I.思想のもと、常に時代の一步先を見据え、商品やサービスを提供しています。また、誰もがタイムリーに世界中の情報を得られるような時代に対応した、音楽や情報がシームレスにつながる車室内空間をめざしています。ユーザーの使いやすさを追求したカーナビゲーションをはじめ、iPodや携帯電話との連携などさまざまな音楽メディアに対応し、かつ音づくりにもこだわった音響機器や、映像技術を駆使して安全運転をサポートするカメラシステムを、いつもの生活環境のみならず、業務用としてもご使用頂けるよう、さまざまな形でお届けしています。また、世界全体を多様なマーケットと捉えており、各地域のニーズに合った商品をいち早くご提供するとともに、皆様の生活に「ワクワク」をお届けできるよう、今後も絶え間なく進歩し続けていきます。

## 車載情報通信機器

環境に対する世界的な意識の高まりを受け、省エネやCO<sub>2</sub>削減をサポートする「エコ運転アドバイス」をはじめ「省エネルート探索」「オンライン交通情報探索」など、環境に配慮した多彩な機能を実現。また、高い利用シェアを誇る「Google マップ」やクラリオン地図情報サイト「チズルとススム」との連携により、カーナビゲーションの新時代を切り拓くインターネット連携機能を搭載しています。クラリオンは常に、市場トレンドにマッチしたユーザーニーズに応える商品開発や利便性を追求していきます。

## 車載音響機器

iPodや音楽再生機能付き携帯電話などのオーディオプレーヤーと音楽配信の普及により、ユーザーの音楽の楽しみ方が多様化した現在、好きな音楽を自由なスタイルで楽しめるシームレスなメディア連携で革新的な音楽環境を実現しました。また、印象的で高級感のある「ブラックデザイン」や、指をスライドさせ直感的に操作するフロントパネルの採用など、ユーザーの「…してみたい」を追求しています。そして、長年にわたる独自開発の音響技術による、音へのこだわりも忘れていません。

## 業務用車載機器

車載カメラを用いた車両安全確認システムで確かな実績を誇るクラリオン。最先端技術を採用し、過酷な環境下でも確かな性能を発揮します。カーナビゲーションとの連動による安全運転サポートだけでなく、「フラッシュメモリドライブレコーダー」と連動することによる事故の原因解析や安全運転指導など、クラリオンの車載カメラは様々な利用シーンで活躍しています。また、耐久性と拡張性を誇る業務用ナビゲーションシステムは、通信によるカスタマイズや機能拡張で様々な業務をサポートします。

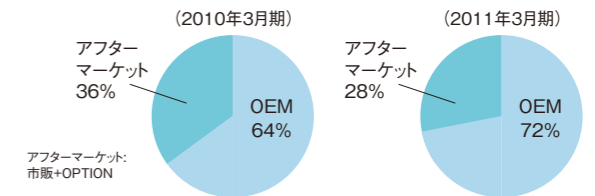


## グローバル市場で高い実績を誇るOEMビジネス展開

卓越した技術力とフレキシビリティの高い生産体制で、クラリオンはグローバル市場から高い評価を得ており、純正機器を納入するOEM\*では世界の主要自動車メーカーと長期にわたり確かな信頼関係を築いています。当社のOEM分野におけるビジネス展開は、1951年の日野ルノー向け純正ラジオ納入を皮切りに始まりました。現在では世界中へ多彩な車載機器を納入しており、当社のビジネスの大きな柱とも言えます。今後、先進国ではハイブリッド車や電気自動車等の普及に伴い、車載機器のさらなる進化が求められます。一方、急成長する新興国市場では各地域ニーズに合致した製品が求められます。目まぐるしく変わる車載機

市場において、クラリオンは長年培ってきた車載適合技術と顧客ニーズを先取りする提案力により、OEMビジネスのグローバル規模でのさらなる拡大をめざしています。 \*OEM: Original Equipment Manufacturing(相手先ブランド生産)

■ 仕向け別売上比率



## OEM主要お取引先



## カーナビゲーションとテレマティクスユニットで、電気自動車をサポート

2010年に日産自動車から日本・米国・欧州で発売した電気自動車(EV)「リーフ」の全車両に、当社のカーナビゲーションが標準搭載されています。これは、従来のナビ機能に加え、充電状態に応じた到達予想エリアの表示、充電促進案内、容易な充電スポット検索、電力消費状況表示といった、ドライバーが安心してEVに乗るための専用機能を多数装備した、世界初のEV専用ナビシステムです。また、テレマティクスを活用したエアコンの遠隔操作、車外からの充電状態確認、プローブ情報送信等の機能を実現するためにデータセンターと通信し信号を処理するテレマティクスユニットも、当社が開発し、供給しています\*。

\*テレマティクスユニットの供給は日本仕向のみ



電気自動車専用ナビゲーション



到達予想エリア表示 充電スポット検索 電力消費状況表示 タイマー充電



テレマティクスユニット



● iPod、iPhoneおよびiTunesは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。  
● Google および Google マップはGoogle Inc.の登録商標です。

先進のテクノロジーで、人とクルマの新しい関係を築きたい。豊かなアイデアで、地球と環境の未来を描きたい。クラリオンは車載機器専門メーカーとして、独自の研究・開発力、柔軟な技術・設計力を駆使して、常にマーケットに新しい風を吹き込んできました。ネットワークへのつながりを深めていくクルマへの対応、地球温暖化や化石燃料の枯渇などに配慮したサステナブルな社会の実現など、これからも、時代の一步先を見つめながら、人、クルマ、地球に求められる確かな技術を提供し続けていきます。

## つながる時代の到来

近年、ユーザーがクルマに持ち込む情報端末はめざましい進化を遂げています。その中でも、高度な機能を持つスマートフォンは、著しい勢いで普及し続けています。これにより、クルマの外のタイムリーな情報交換が可能になってきました。そのため、車載機器は、スタンドアロン\*型機器からインターネット連携対応機器へと変わりつつあります。また、クルマ自体も進化を遂げており、ハイブリッド車や電気自動車等の次世代自動車は今後ますます普及していくと見込まれ、電力消費状況など、クルマ自体の情報も車載機器が取り扱う必要が生じてきています。これらの変化により、車載機器が取り扱う情報は、従来に比べ格段に多くなります。多くの情報をより快適・安全に、よりシームレスにつなげるためには、車載特有のコントロールがこれまで以上に重要になり、クルマの外のインフラとの連携も重要になります。長年にわたって車載機器開発のノウハウを築いてきたクラリオンは、インフラに対し高い技術を持つ日立との強力な技術シナジーによって、車載機器に対するニーズの変化に迅速に対応し、より快適で安全な製品とサービスを提供していきます。

\* スタンドアロンネットワークに接続せず、単独で動作すること

## つながる時代のオンラインネットワーク検索

インターネットの普及により「誰もが」「いつでも」最新の情報を入手できるようになった今、情報端末に求められるのは、情報を「どこでも」受け取れる機能です。その「どこでも」を実現するために、クラリオンのカーナビゲーションは「つながる」ナビへと進化します。クラリオンではインターネット検索で世界的なシェアを誇るGoogleといち早く連携し、ネット経由での最新スポット情報検索を実現。Google マップが保有する膨大な店舗・施設のデータベースをカーナビゲーション上でも利用できるとともに、目的地検索や店舗情報のレビューについても、住所指定やキーワード検索などパソコンでの検索と同様の操作で行えるようになりました。例えば、連携機能のひとつ“Google マップ「ローカル検索」”では、カーナビゲーション画面からの操作で直接Google マップに登録されている施設情報を検索・表示が可能。また、パソコンで検索したGoogle マップの地点情報をSDメモリーカードや携帯電話経由でカーナビゲーションへ転送する“Google マップ「カーナビ連携」”を使えば、カーナビゲーションの目的地検索用データベースにはない最近できたお店や施設も手軽に探せます。さらに、こうしたGoogle マップ連携に加え、クラリオン独自の地図情報サイト「チズルとススム」ともオンラインにて連携することで、全国から寄せられた投稿スポットをカーナビゲーションから検索することも可能になりました。

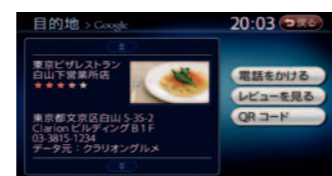
## オンラインネットワーク



Googleピンによるポイント表示



ナビの登録地リストに追加



写真やレビューなど施設情報の表示も可能

## 地球環境を考える エコドライブの実現

クラリオンは、地球にやさしい走りアシストする技術・製品づくり「グリーン・ナビゲーション」コンセプトを推進し、より少ない燃料で走れるルートを予測走行パターンや地形情報などから探し出す「省エネルート探索」や、「エコ運転アドバイス」などの機能を開発しました。これらは排出CO<sub>2</sub>の削減やガソリン代の節約にもつながる、地球とドライバーにやさしい機能です。今後はハイブリッド車や電気自動車の普及が見込まれます。こうした次世代のエコカーにも対応すべく、クラリオンではエコドライブの開発を継続していきます。

### 省エネルート探索



### あらゆる条件を考慮して省エネルートを探索

- アクセルワークが頻繁になるような高低差があるか
- 渋滞していないか
- 目的地までの距離は短いかなど

例えば…

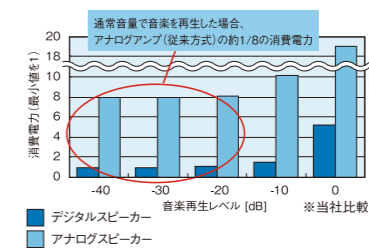
- ① 高速道路: 目的地まで早く着くが遠回り、かつ渋滞していて時間がかかる。
- ② 一般道・山道: 直線距離は短いが高低差があり、アクセルのオン/オフが頻繁。
- ③ 一般道: 少しだけ遠回りだが、平坦な道のためアクセルのオン/オフが少なく、渋滞もないので早く着く。

## 世界初 車載用フルデジタルスピーカーの開発

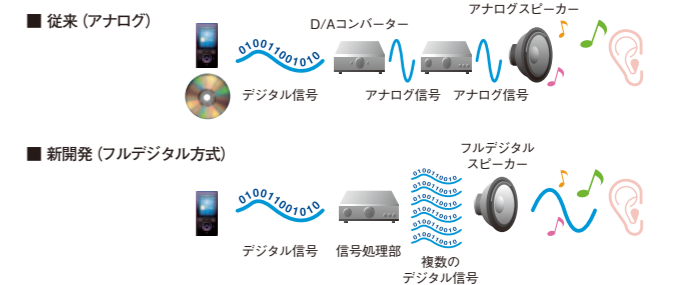
デジタル音源の持つ情報を余すことなく再生する、完全デジタルの全く新たなカーオーディオシステムを実現するため、車載用フルデジタルスピーカーの開発に取り組んでおります。この技術は、デジタル信号処理技術“Dnote”<sup>※1</sup>とクラリオンが培ってきた車載音響技術を融合し開発したもので、CDなどのデジタル信号を直接スピーカーに入力し再生することで、音源のデジタル音質をそのままの高音質な状態で再生できます。また、駆動電圧を従来の半分以下、消費電力を約1/8<sup>※2</sup>に抑えるなど大幅な省電力を実現します。この技術により、省電力が求められるハイブリッド車、電気自動車、アイドリングストップ車等に最適な、高音質カーオーディオシステムの製品化をめざします。

※1 Dnote:株式会社Trigence Semiconductorの登録商標で、デジタルオーディオ信号を変調し、複数のスピーカーユニットまたはボイスコイルに直接入力することで、音声を再生させる技術です。  
※2 消費電力を約1/8当社比較

### 音楽再生時の消費電力比較



### 従来の方式との比較



## We are Clarion

“クラリオンサウンド”の、次世代へ向けたステップアップに貢献  
AVコア開発部音響・スピーカー開発Gは、音響技術の先行開発から車両の音づくり、スピーカーの開発まで音づくり全体を開発する役割を担っています。フルデジタルスピーカーの開発においては、デジタル信号による駆動方式に最適化した専用スピーカーの技術開発を担当しています。この技術が持つ潜在的な能力をどのように生かせるか、プロジェクトメンバーと一丸になって考え、次世代の“クラリオンサウンド”を実現したいと思います。

AVコア開発部 高田 直樹

他社に先駆け、いち早く製品化をめざす  
AVコア開発部音響・スピーカー開発Gの一員として、デジタル音響処理技術の先行開発を担当しています。フルデジタルスピーカーの開発では、このシステム専用の車載カスタムICの開発をおこなっています。他には無い、クラリオンオリジナルの製品を世の中に送り出せるチャンスなので、やりがいを感じながら取り組んでいます。

AVコア開発部 黒本 晋一

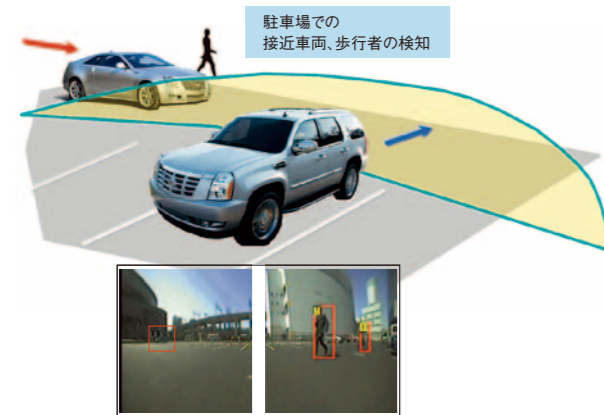
# 卓越したテクノロジーが創造する、クルマ社会の新しいかたち

快適さを求めながらも安全を確保する、効率性を高めながらも環境へのやさしさを忘れない。クラリオンでは、より「快適・便利」に運転をサポートする、「安心・安全」なクルマ社会に貢献する、そして「環境・効率」のバランスをキーワードに掲げて、日々、技術開発に取り組んでいます。クルマを利用する方々のために、さらにクルマを取り巻く環境のために、ステークホルダーすべてに喜ばれる、多方面へ配慮した高度な技術力は、私たちクラリオンが長年にわたり積み重ねてきたお客様との信頼の証です。

## 高度化するVision System (カメラ応用商品群)

クラリオンでは、安全かつ安心して暮らせるクルマ社会の実現に向け、画像処理・画像認識技術を活用して駐車や走行を助けるVision Systemの開発に取り組んでいます。車両の周辺情報を表示する全周俯瞰映像(OVM ; Overhead View Monitor)、カメラを使って接近する歩行者や車両を検知するセンシング機能開発がその中心です。さらに、Vision Systemの根幹となるカメラの商品力強化にも力を注いでいます。超広角レンズによる視野の拡大、夜間や強い逆光のある厳しい光(ひかり)環境で自然な映像を提供するロジック開発や、受光素子の応用によって、正確でより多くの映像情報をVision Systemへ送り、その信頼性を向上させていきます。

### ● リアカメラの画像認識機能を使った車両／歩行者検知



超広角レンズを使った  
接近歩行者検知

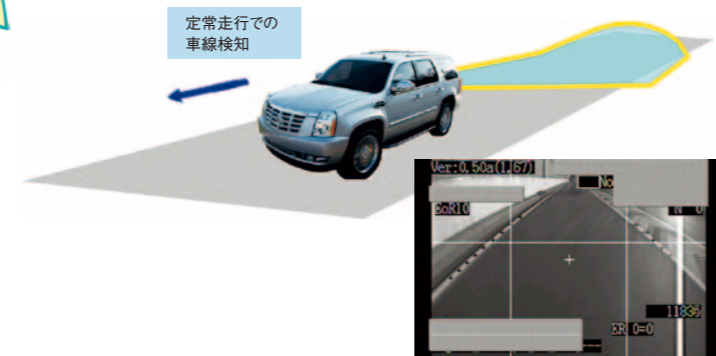
### ● 全周俯瞰映像 (OVM ; Overhead View Monitor)



半透過映像表示例  
(左側のドアを半透過表示)

全周俯瞰映像表示例  
(全周俯瞰映像とリアカメラ映像)

### ● リアカメラの画像認識機能を使った車線検知



定常走行での  
車線検知

## We are Clarion



カメラシステム開発部  
秦野 素温

カメラシステム開発部で、OVMシステム<sup>®</sup>のプラットフォーム開発を担当しています。画像処理技術に画像認識技術をプラスし、運転支援機能を充実させた、高級車向けの仕様になっています。開発当初は、画像処理専用のIC開発と原理試作を同時に行い、無事に完了させることが大変でした。また、次の世代でも使えるよう、冗長設計をしているため、性能と品質を確保することが大変でした。顧客スペックを満足させるための技術検討を何度も重ね、品質確認のOK判定が出た瞬間が、開発に携わった嬉しさと達成感を感じる時です。

※ OVMシステム: Overhead View Monitor System (全周俯瞰映像システム)



カメラシステム開発部  
入江 耕太

カメラシステム開発部では、車載カメラに関連する先行的な技術開発から、量産設計までを行っています。私が担当する業務は、自車に接近してくる歩行者や車などを認識して警報するといった、安全運転支援のための画像認識ソフトの開発です。様々な走行環境で発生する課題を一つひとつクリアしていくことは大変ですが、自分が携わったモノが製品化され、雑誌記事やカタログに載ったときは、大きな達成感と喜びを感じます。

## 「…してみたい」を デザインするH.M.I.開発

「さわってみたい」「使ってみよう」と、人びとが感じる「…してみたい」という気持ちが私たちのH.M.I.開発の原点にあります。クラリオンでは、人間中心設計に基づくユーザー視点でのものづくりを推進し、IAUD (国際ユニバーサルデザイン協議会)への参画や、日立製作所デザイン本部や大学と共同でユーザビリティテスト等を実施し、車載という特殊な使用環境において「多機能」と「使いやすさ」の両立を追求しています。これらの概念や活動の結果が、グッドデザイン賞受賞や日本人間工学会のグッドプラクティス事例認定、J.D.パワー使用実態・満足度調査最上位といった数々の評価につながっています。

### ● 直感的な操作



AVナビゲーション NX501 フリック操作のイメージ

昨今のスマートフォンで取り入れられている「フリック」や「ドラッグ&ドロップ」といった作法を取り入れ、直感的な操作を実現しています。

### ● 新開発メニュー



AVナビゲーション NX501

メインメニューに配置された1つひとつのボタンがアニメーション化され、製品の魅力を視覚的に演出しています。

### ● カラーユニバーサルデザイン

2009年度モデルで開発した、カラーユニバーサルデザインは、人間工学会グッドプラクティス事例に認定されました。2010年度モデルでもその考えを踏襲したスクリーンデザインを採用しています。

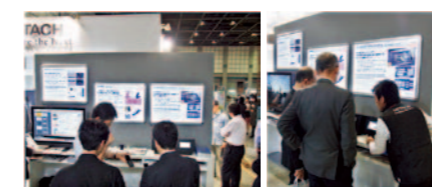


2009年度モデル (NX609/309)

2010年度モデル (NX710/110)

### ● IAUDへの参加活動

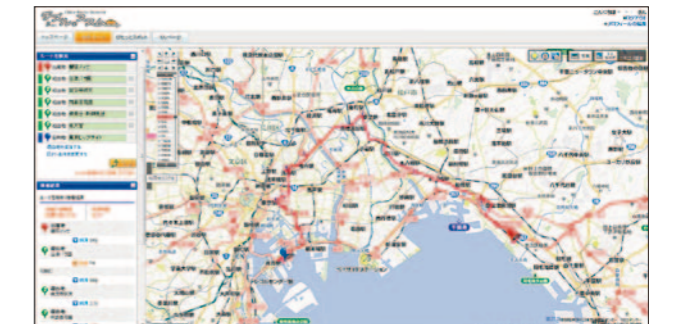
IAUD (国際ユニバーサルデザイン協議会)の正会員企業として、ユニバーサルデザインの普及のための活動を行っています。活動で得た知識や経験を製品に反映できるように取り組んでいます。(クラリオンは移動空間プロジェクトに所属)



2010年11月  
国際会議in浜松での展示風景

## もっと楽しく! もっと便利に!! 地図情報サイト「チズルとススム」

「チズルとススム」は、「ドライブをもっとワクワクさせる地図コミュニティサイト」をコンセプトに、インターネットとカーナビゲーションをリンクさせシームレスな情報の共有化を図ることをめざしています。サイトで登録したお気に入りのスポットやドライブプランをカーナビゲーションに転送できるので、自宅で楽しみながらドライブ計画をつくれます。今後もカーナビゲーションとの機能連携強化、サイトのH.M.I.向上などにより、さらに価値あるサービスを提供していきます。



©2010 ZENRIN CO., LTD.(ZIOMA第008号)

### カーナビ連携の主な機能

- お気に入りスポット/コース転送
- Google マップ連携 (ローカル検索およびカーナビ連携機能)
- エコ運転サポート

### サイトの主な機能

- ルートシミュレーション
- スポット検索
- 観光動画閲覧
- スポット投稿

「チズルとススム」は、ここからご覧いただけます。  
<http://chizu-route-susumu.jp/>



3次元CADシステム



音場解析実験



カーシールド室

車載機器は、熱帯から極寒地、砂漠地域から湿度100%の多雨地域など、世界のさまざまな気候や常に変化する電波環境において安定した性能を発揮しなければなりません。また、ここ数年、自動車業界の世界的な再編によって、品質・コストの面でも市場からさらに厳しい要求を迫られています。クラリオンでは、自社市販製品はもちろん、OEM市場においても、常に世界中のお客様のベストパートナーとして確かな品質を提供し続けるために、厳しい品質評価体制づくりに取り組み続けています。CADシステムによる精密なシミュレーション設計、試作評価、設計審査、試作品の品質試験など、「Clarion」ブランドの基準を満たすレベルに達するまで、今日も想像を超える過酷なテストと妥協なき品質評価が繰り返され、商品はお客様の手元へと届けられるのです。

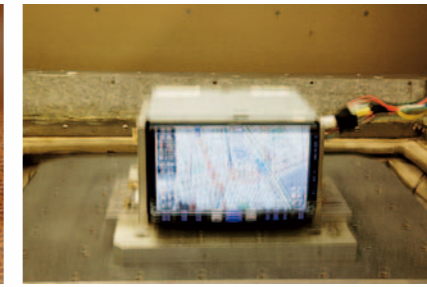
世界市場で認められる、  
新たな品質管理体制の確立

クラリオンでは、製品の動作確認用の検査機器のプログラミングをはじめ、凝縮した回路や小型化した部品の実装状態を調べるため、高精細カメラやX線機器を積極的に導入。生産ラインでは、国内から海外まで統一されたチェックオペレーションが採用され、世界のどのクラリオン工場でも同様の品質が保たれる体制が整備されています。また、世界の市場に対応するため、ISO9001を母体とした自動車業界固有の品質システムである国際規格ISO/TS16949を、すべてのクラリオン工場が認証取得しています。

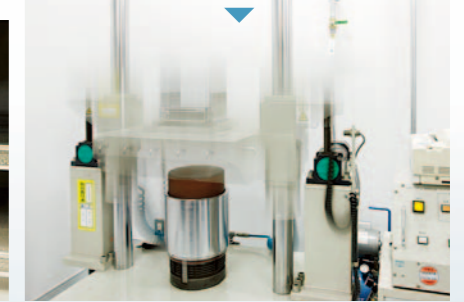
そのほか、取引先から自社までの一貫した品質管理体制や、グローバルに対応するサプライチェーンの整備など、「お客様満足と信頼の確保」をめざして品質保証体制の向上を図っています。



塵埃試験機



複合試験機(温度+振動)



落下衝撃試験機



防水試験機



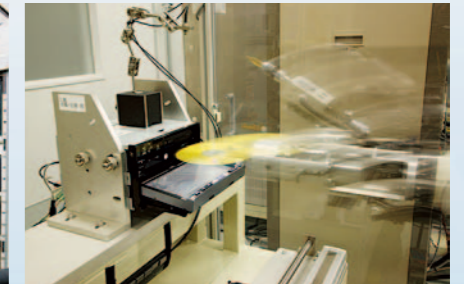
サーマルショック試験機



シールドルーム



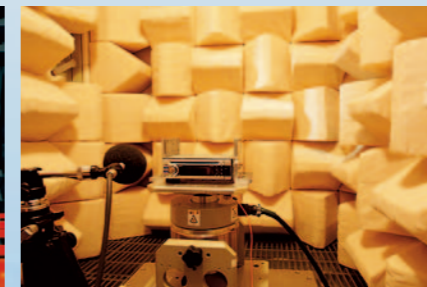
温湿度試験機



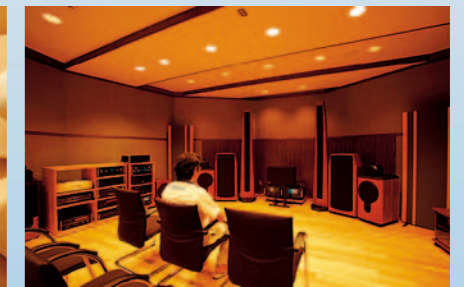
自動繰り返し耐久試験機



電波暗室



ラトルノイズ評価装置



試験室

Topics

生産体制紹介「タイ新工場の建設」

クラリオンはワールドワイドな受注体制を整えるため、ASEAN地域の体制再編を行っております。タイに新工場を建設し、部品調達から生産、納入までをタイムリーかつスムーズにおこなうようにすることで、世界中のお客様へ商品をお届けするための供給機能を強化します。

タイ工場では、自動車メーカー向けのカーオーディオ・カーナビゲーションカメラの生産、販売を目的として2012年4月本格量産開始予定(初年度約56万台)、2016年には200万台/年規模の生産体制をめざします。



完成イメージ図

開発体制紹介「中国における開発機能の強化—生産拠点から、グローバル開発拠点へ」

クラリオンは、新興国市場の成長を見据え、グローバル体制の強化と再編を進めています。新興国の中でも特に成長著しい中国市場での事業拡大と、グローバルで戦えるコスト競争力確保のため、開発や購買などの機能を順次中国へ移管しています。

現在、中国の生産拠点は、当社全生産量の約50%生産しており、生産機能の中核を担っていますが、今後は福建省廈門市にある開発拠点を大幅に強化し、開発コストの削減と、地域ニーズに合致した開発を実現する、グローバル開発センターを新たに構築します。



福建省廈門市にある開発センター



クラリオンは自動車産業の歴史とともに歩んできたといっても過言ではありません。日本初のカーラジオ、そして、日本初のカーステレオの発売など、車載機器の黎明期から業界のフロントランナーとして常に時代をリードし続けてきました。その企業スタンスは、ドライバーのニーズをしっかりと受け止めて確かな技術で応えること、さらに、豊かな創造力で常にユニークな製品を提案すること。カーラジオからカーAV、そしてカーナビゲーションへと時代が変わっても、これまで生み出してきた知的財産と企業理念を融合させ、クルマを中心とした移動空間すべてにおいて「音と情報と人のインターフェース」をめざして、「Clarion H.M.I.」を追求してまいります。

沿革

**1940** **1940年12月** / 東京都文京区白山前町21番地に白山無線電機株式会社を設立。電池式家庭用ラジオの製造を開始。資本金18万円  
**1943年11月** / 滝澤無線電機工業(株)を合併、帝国電波(株)と改称。  
**1950** **1951年2月** / 日本初のカーラジオを開発し、発売。  
**1958年6月** / カーラジオのアメリカ向け輸出に成功。今日のカーオーディオ輸出の基盤を築く。  
**1959年5月** / カーラジオが日産自動車より純正部品指定を受ける。  
**1960** **1962年8月** / 東京証券取引所市場第二部に株式上場。  
**1963年10月** / 日本初のカーステレオを開発、翌年8月販売を開始。  
**1967年9月** / 埼玉県戸田市に埼玉事業所を新設。  
**1968年3月** / 日本初のカセットカーステレオを発売。  
**1969年8月** / 大阪証券取引所市場第二部に株式上場。  
**1970** **1970年2月** / 東京証券取引所大阪証券取引所市場第二部より第一部に上場指定。  
**1970年4月** / 東京都渋谷区道玄坂に本社事務所を移転。  
**1970年12月** / 商号をクラリオン(株)に改称。  
**1970年12月** / マレーシアに合併で初の海外工場(CM)設立。  
**1975年6月** / クラリオンガールをスタートさせる。アグネス・ラムが初代گرانプリに。  
**1976年8月** / 業務用カラオケ「カラオケ8」及びカセット編集デッキ「ダビングX」を発売。  
**1978年10月** / 福島県郡山市に東北事業所を設置。  
**1980** **1980年11月** / 東京都渋谷区渋谷に本社事務所を移転。  
**1983年7月** / フランス工場(CEF)設立。  
**1983年11月** / 群馬県邑楽郡に群馬事業所設立。メキシコに生産会社(ELECLA)を設立。  
**1987年7月** / カーCD CD5000発売。  
**1989年10月** / フィリピンに生産会社(CMCP)を設立。  
**1990** **1992年2月** / 日本初の音声誘導式ナビゲーションシステム NAC-200発売。  
**1993年4月** / SS無線モデム技術基準適合証明を国内ではじめて取得。同時にモデムの発売。  
**1995年1月** / 香港管理会社(CHI)設立。  
**1995年3月** / クラリオン全事業所でISO9001取得。

**1995年4月** / 中国に生産会社(DCOE)設立。  
**1996年5月** / VICS対応カーナビ発売。  
**1997年4月** / 浜松営業所設立。  
**1997年10月** / ハンガリーに生産会社(CHE)を設立。  
**1998年1月** / 米マイクロソフト社と車載用パソコン「Clarion AutoPC」を共同開発。  
**1998年12月** / 世界ではじめて「Clarion AutoPC」を、アメリカにて販売開始。  
**1999年8月** / ETC(自動料金収受システム)を日立製作所と共同開発。  
**1999年12月** / 仏シントロエンに「AutoPC」をOEM供給開始。  
**2000年3月** / クラリオン販売(株)設立。  
**2000年4月** / ISO14001国内5事業所にて取得。  
**2000年12月** / 日立製作所、クラリオン、ザナヴィ・インフォマティクスの3社で合併会社の(株)HCJ社を設立。  
**2001年5月** / 東京都文京区白山に本社事務所を移転。  
**2001年8月** / クラリオンスカラシップMEDAMAをスタートさせる。  
**2001年10月** / 有料道路自動料金収受システム(ETC)用の車載器を発売。  
**2001年11月** / 東京モーターショーにAutoPC CADIAS(カディアス)を出展。  
**2002年3月** / 北米向け衛星ラジオ受信機を発売。  
**2002年9月** / 埼玉県戸田市に本社事務所を移転。  
**2002年10月** / クラリオン東北製造にクラリオン自機生産部、クラリオンシステムを統合し、社名をクラリオン・エム・アンド・エル(株)に変更。  
**2002年12月** / 日本初の車載コンピュータ「AutoPC CADIAS」発売。  
**2003年2月** / 世界初、後方確認用俯瞰カメラシステム(真上から見た映像を表示)を日産自動車向けに納入。  
**2003年6月** / HDD(ハードディスクドライブ)搭載AVナビゲーションシステムを発売。  
**2003年8月** / 中国・上海GM社へCDカーオーディオを納入開始。  
**2003年10月** / 日産情報サービス「カーウィングス」に対応した、HDD搭載AVナビゲーションを発売。  
**2004年2月** / 業務用車両向けとして世界初のLinuxとJava™ J2ME CDCを搭載した車載用情報端末を発売。

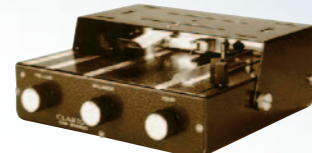
1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010

1940's - 1960's



**1948 日本初**  
カーラジオバス用  
拡声装置を開発、発売

**1951 日本初**  
クラリオン初の純正ラジオ  
日野ルノー「ルー・パブリジャン」発売



**1963 日本初**  
カーステレオを開発、翌年発売



**1968 日本初**  
カセットカーステレオ発売

**2005** **2004年6月** / 市販2DINサイズとして業界初となる7型モニターおよびHDD搭載AVナビゲーションを発売。  
**2004年7月** / 業界初、路線バス向け停留所名表示器用FM文字多重放送チューナーを発売。  
**2005** **2005年1月** / 業界初、モニター画面上の仮想iPodで、iPod本体操作可能なAVセンターユニットを北米で発売。  
**2005年3月** / ホルシェ・ジャパン全車種へAVナビゲーションを展開。  
**2005年5月** / 業界初、国内向けにiPod対応AV一体型HDDナビゲーションを発売。  
**2006** **2006年6月** / 中国、北米の市販市場にカーナビゲーションを初投入。  
**2006年7月** / 全国の観光地を動画で紹介する国内最大規模の旅ドライブ情報サイト「Movieum」オープン。  
**2006年12月** / (株)日立製作所が親会社となる。  
**2007** **2007年1月** / (株)ザナヴィ・インフォマティクスを100%子会社とする。  
**2007年1月** / トヨタ車にカーオーディオを初めて納入(ダイハツ受注生産)。  
**2007年4月** / バス向けASPサービスを開始。  
**2007年4月** / クラリオン・エム・アンド・エル(株)からクラリオン(株)の生産管理/生産技術の機能移管を受け、社名をクラリオン製造プロテック(株)に変更。  
**2007年7月** / 業務用車両向けカーナビゲーション「Solid Navi」(CQ-8000)を開発し、販売を開始。  
**2007年8月** / 本社事務所をさいたま新都心へ移転し、名称を「本社事務所・技術センター」に変更。

1970's - 1990's



**1976**  
カセット編集デッキ  
「ダビングX」発売

**1981**

カーステレオ  
「City Connection」発売



**1992 日本初**

音声誘導式ナビゲーションシステム  
(マップナビゲーションシステム)  
「NAC-200」発売



**1993 日本初**

ハイブリッドナビゲーション  
システム「NAX-700」発売



**1995 市販初**

2DIN CD/カセット  
一体機「ADX8155」発売



**1996**

1DINタイプ CD/DSPコントロール、  
TV/AM/FMチューナー付5型  
LCDアンブレ「VRX8250」発売



**1996**

高性能・高音質CDセンターユニット  
「DRX9255」発売



**1998 世界初**

米マイクロソフト社と車載コンピュータ  
「AutoPC」を共同開発  
世界で初めて「Clarion AutoPC™」を米国で発売



2000's - 2010's

**2002 日本初**  
車載PC「AutoPC CADIAS™」発売  
OSにWindows CE for Automotive採用  
通信方式ナビ「Access Navi」採用



**2004 世界初**

業務用車両向けとして世界初のLinuxと  
Java™ J2ME CDCを搭載した  
車載用情報端末を発売



**2005 業界初**

iPodフルコントロール搭載  
1DIN AVセンターユニット  
「VRX755VD」発売



**2007 世界初**

業務用SDDナビゲーション  
「Solid Navi」発売



**2008**



地上デジタルTVチューナーBluetooth®内蔵  
ワイド7型 VGA 2DIN / DVD/  
HDD AV-Naviシステム  
「CRASVIA (NX808)」発売

**2008**

携帯通信端末「Clarion MiND™」  
を北米で発売



**2011**



ワイド6.2型 VGA 2DIN ワンセグ DVD/SD  
AVライトナビゲーション  
「SD AVライトナビゲーション (NX501)」発売

# 戦略的でグローバルなコミュニケーション活動が、人と企業と社会を結ぶ

いくつもの国や地域、さまざまな文化やマーケットトレンド…。クラリオンは活動領域がグローバル化するに従って、お客様とのコミュニケーションの重要性はますます高まっています。企業姿勢の周知、ブランドの認知、製品情報の提供や新技術のPR、広告・宣伝などのプロモーション活動、ポータルサイトの拡充など、クラリオンでは世界各国のステークホルダーに向けて多岐にわたる活動を展開。「Clarion」ブランドをコアにしたグローバル戦略、地域性を重視したローカライズ戦略をバランスよく融合し、社会との良好な関係を築くためのコミュニケーション活動を積極的に進めています。



2010年  
「CRM event」に出展  
(マレーシア)

2011年  
「2011 International CES (コンシューマーエレクトロニクスショー)」に出展  
(アメリカ)



2011年  
「My Special Car Show」に出展  
(イタリア)



2011年  
「AMICOM 2011」に出展  
(ドイツ)

2011年  
「全国バス事業者大会」に出展  
(東京)



2011年  
「Peugeot Tech Show」に出展  
(フランス)



2010年  
「Tech Show (技術展示会)」を開催  
(本社・技術センター)



2010年  
「創立40周年チャリティ  
ランチ」を開催  
(マレーシア)



# ブランドの誇りと情熱を胸に、世界中で活躍するクラリオンスタッフ

優れた企業とは、高い志をともにする人材の集合によって成り立つもの。豊富なグローバルネットワークを展開するクラリオンでは、世界各国に「Clarion」ブランドを代表する顔として活躍する社員たちがいます。誰もが自らの仕事に誇りと責任を持ち、世界各国のお客様とよりよい関係を築くために日々努力しています。その一人ひとりの存在こそがクラリオンの価値をさらに高め、未来へ飛躍するための確かな礎となっています。

ノーラ ジャーファーです。クラリオンマレーシアには1990年に入社しました。過去10年間、色々な仕事を体験しましたが、その後、輸出営業部門で働く機会を与えられました。難しい分野ですが、これからも仕事を通じて会社の成長に貢献していきたいと思っています。



クラリオンマレーシア  
ノーラ ジャーファー



クラリオンアメリカ  
ニッキー エバート

ニッキー エバートと申します。2000年9月からCCAの営業管理として働いています。私の業務は供給と物流の管理です。フォードオーディオ売上管理担当と、フォード向けオーディオの生産投入、デリバリー担当をしています。

私は米国内での製品納品前の品質検査や、生産ライン上での検品、保証期間内に返品された製品の欠陥、欠陥発生原因解析の業務を担っています。また、お客様の要求事項、ご意見を伺うカーディーラー訪問活動にも取り組んでいます。



クラリオンアメリカ  
ルーク 高橋



クラリオンフランス  
レミ マッフィー

私は欧州内の顧客との受注調整とデリバリー調整窓口として働いています。(お客様からの確定オーダーや内示数量、在庫の管理や倉庫から製品を出荷する指示もしています。)また市販製品に関して顧客と話し合い、クラリオン日本やクラリオンハンガリーより製品の調達や在庫管理の責任も担っています。

こんにちは。クラリオン香港の会計部のマギーレイと申します。私は、会計部門で主に入出金管理業務を行っています。クラリオン香港グループは、クラリオングループの中でも生産の中核を担っており、年々取引額が増えています。その中で入出金管理はとても重要なポジションの為、日々細心の注意を払い業務を行っています。今後仕事を通じて皆様と交流出来る事を楽しみにしています。We are Clarion!



クラリオン香港  
マギー レイ

私は4年半ほど前、ナビ担当のアカウントマネージャーとして入社しました。現在大手自動車メーカー向けのナビゲーションとオーディオの責任者をしています。私のチームは見積り・発注、プログラムのマネジメントや自動車メーカーのディーラートレーニングへの支援など多岐にわたる仕事を扱っています。クラリオンチームの一員であること自体ワクワクすることですが、今後クラリオンが一層発展していく一助になればと思っています。



クラリオンアメリカ  
キャサリン ウィンダース

クラリオンブラジルでロジスティクス・マネージャーをしているパオラジョリーです。責任範囲は販売管理・企画、輸出入、国内の購買、梱包・発送と多岐にわたります。もちろん全てのお客様の注文の調整、納期内の納品の保証も仕事の一部です。クラリオングループの中でも団結力、チャレンジ精神と能力を持ったブラジルチームの一員であることを大変誇らしく思っています。



クラリオンブラジル  
パオラ ジョリー



クラリオン中国(ドンガン)  
謝 迎松

こんにちは! クラリオン中国(ドンガン)生産技術部の謝迎松です。DCOEへ入社し既に10年が経過しました。生産技術では生産性を高め、品質・コスト・納期を日々追求しなければなりません。クラリオングループで一番の生産量を誇る中国工場での生産技術業務は毎日が困難の連続です。また、クラリオンの製品が世界に知られると共に自分自身の能力と目標も高く要求されて来ました。日本人駐在員の熱心な教えを肝に銘じてクラリオンを世界No.1にするようめざして努力していきます。皆さん一緒に頑張りましょう!

現在、大手量販店の本部営業を担当していますが、当社は量販店舗以外にも、カーディーラー・特機向けの営業や、最近はレンタカーやリース向け企業への営業にも力をいれており、まさに国内市販は任せろのグループ企業です。入社21年になりますが「個人プレーよりチームプレー」そんな価値観を植え付けてくれるこのグループは最高の職場です。今後もチームに迷惑をかけないように個人のレベルをあげ、職務に邁進したいと思います。



クラリオンセールスアンドマーケティング  
中桐 宏

私は蘇燕寧と申します。今年入社12年目。現在は生産管理部で主に受注出荷管理を担当しています。顧客要求満足、輸出経費削減達成、また、英語・日本語のレベルアップに日々努力しています。出荷ロスとミスを生じさせていない事に誇りに感じています。また、お客様と調整の結果、出荷費用が削減できたときは嬉しいです。これからもクラリオンの発展が続くことを願っています。アモイは天気良く風景も美しく人がとても親切で人気がある所です。アモイの「鼓浪嶼餡餅」も美味しいですよ。一度来てみてください。



クラリオン中国(アモイ)  
蘇 燕寧

実験部で車両適合性の評価をしています。製品に不具合が出ないよう、正確かつ迅速な評価をめざしています。入社して2年たちました。まだ、わからないこともたくさんあります。早く一人前になれるよう、がんばります。



実験部  
山岡 美香

クラリオン台湾に入社してから20年たちました。現在、営業担当は5人体制となっていますが、今後の課題としては、営業部の組織再編などにより営業効率を改善し、全体の業務能力を拡大し、市場データに基づく戦略的な商品企画/宣伝広告の立案をめざし、新規顧客の開拓や商品企画能力の向上など意識改革を推進したいと思います。



クラリオン台湾  
盧 振呈

私はグローバル戦略部でマーケティング戦略の立案や市場調査に携わっています。社内外の多くの人と協働しながら、市場の将来について洞察しクラリオンの事業と商品が将来に渡って競争力を得られる様にすること、お客様のニーズを探求し商品のコンセプトをより魅力的にすること、訴求メッセージを改善しお客様にクラリオンの商品の良さをより深くご理解頂くことなどに取り組んでいます。難しい仕事ですが、競争優位の確立と更なるお客様満足の実現へむけて様々な活動を試みています。



グローバル戦略部  
今西 規之

# ブランドの誇りと情熱を胸に、世界中で活躍するクラリオンスタッフ

私は輸出入の業務を担当しています。AIR出荷、SEA出荷の輸送会社との連携、フランス国内の港、空港からの陸送のスケジュールリングをしています。また、ITシステムを利用し、全ての通関手続き(輸入申告書の作成、保税倉庫手続き、輸出申告書作成)を行っています。必要な場合は保険を申請したりもします。

クラリオンフランス  
ダニエル エラル



私は自動車メーカーへのナビゲーション・オーディオ・カメラの新規提案・受注活動、既存ビジネスのフォロー等を行っています。数年後に市場に出るクルマづくりに携わることができるのはこの仕事の醍醐味でもあり、携わった製品を街で見かけた時は自然と嬉しくなります。

名古屋営業所  
上野 健太郎



クラリオン中国(ドンガン)生産管理部出荷促進課の石立君と申します。2007年入社後、北米を除く、欧州・その他地域向けの出荷管理を担当してきました。営業の出荷指示に基づき、出荷手配を行い、関係書類を作成することが主な業務内容です。クラリオングループの最大工場として、船出荷拡大による航空運賃削減など利益を向上させることが我々の使命です。部長や課長のご指導の下、毎日責任感を持って、出荷促進および業務の改善に取り組んでいます。仕事を通じて、皆様と交流するのを楽しみにしています。



クラリオンフランス  
名取 大輔

クラリオンヨーロッパ(フランス)のアフターマーケット営業として、北欧・東欧を中心に約20か国のマーケットを担当しています。少しでも多くのお客様にクラリオンの製品に触れて頂けるよう、様々な販促活動に取り組み、売上を伸ばすことが私のミッションです。トルコ・スイス・東欧等の新規市場の開拓と北欧での販促が現在の最重要タスクです。

私は英国の新しい社屋にて、日産やランドローバービジネスを手助けしながら、欧州OEM営業チームのマネージャーとして働いています。私の業務は、ご想像の通り、社外のお客様と多く連携をとったり、フランス、ハンガリー、日本のクラリオンスタッフの協力を得て成り立っている業務です。

クラリオンイギリス  
ニック グラタン



こんにちは! クラリオンアモイ工場の施文輝です。今年で入社17年目になりますが、当初は旧CDFY(ANION東莞工場)で製造業務に従事、1999年にアモイへ転勤することになりました。今、技術と製造を担当しています。高品質、低コストのカーオーディオを製造するために、日々改善活動を行っております。毎日の仕事は忙しく大変ですが、楽しくやらせて頂いています。将来は競争力が有り、業界でNo.1のクラリオン製品をめざし引き続き頑張っています。

クラリオン中国(アモイ)  
施 文輝



クラリオン中国(ドンガン)  
石 立君

こんにちは。セミOEM営業のセールスマネージャーをしているミシェルドゥーランです。ブジョーUK、ボクスホール、スズキ、ヒュンダイ、そしていすゞを担当しています。また、スキャンアやAGCOのようなトラックや農業機械メーカーとも取引を行っています。電気自動車分野のような新規ビジネスの開拓にも力を注いでおります。1996年からクラリオンで働いていますが、世界中の方と毎日楽しく業務を行っています。イギリスにお越しの際は是非お声掛け下さいね。

クラリオンイギリス  
ミシェル ドゥーラン



クラリオンフランス  
エリック オベバル

私は7年前よりクラリオンフランスのプロジェクトマネージャーを務めています。開発当初から生産開始までの全ての過程において、欧州のお客様とクラリオン日本チームとのインターフェイスを任されています。また、クラリオンの新プロジェクトとなる技術開発をお客様に紹介もします。日本チームとのコミュニケーションを向上させるよう日々努力することは、私にとって、お客様満足確保のための最良の方法であると考えています。

こんにちは! クラリオン中国(ドンガン)生産技術部の鈴木宏幸です。クラリオン中国(ドンガン)での生産量はクラリオン全体の半数以上を誇り製品種類も多岐に渡るため、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。既に駐在期間も6年が過ぎましたが習慣など異なる為、まだまだ慣れず毎日が新しい発見の連続です。最近では、ローカルスタッフとの親睦を深める為にアフター5に近所の体育館でバドミントンを楽しんでいます。

クラリオン中国(ドンガン)  
鈴木 宏幸



私は、1998年9月にインドネシアに拠点を置くニュー・サウス・ウェールズのセールスマネージャーとしてクラリオンオーストラリアに入社し、2004年6月にOEMのポートフィット(港湾装着)担当のナショナル・セールスマネージャーに昇進してメルボルンの本社に移ってきました。私たちのチームは国内の取引先から高く評価されています。私たちのめざすものは取引先・一般のお客様に業界トップのサービスを提供し、それを維持することです。未来に向け情熱を持って「Clarion」ブランドを盛り上げていくつもりです。

クラリオンオーストラリア  
ジョン フラー



クラリオン中国(アモイ)設計企画管理部の楊春燕と申します。2008年に入社してから、OEM開発の進捗管理を担当しています。開発設定依頼書の受領から開発終了までの、各段階の進捗管理と業務調整が主な仕事です。アモイの皆様は毎日活気満々で仕事しています。私も個人レベルを上げて、会社の発展に寄与したいと思っています。

クラリオン中国(アモイ)  
楊 春燕



私たちの職場は大手自動車メーカー、クラリオンアメリカなど国内外向けのオーディオ、カーナビゲーション、カメラ、スピーカーなどの生産計画、供給業務を担当しています。職場は13名で構成され、平均年齢42歳。事務所の電話は1日150回を超え、毎日が活気に満ち溢れています。そのような中でも営業の販売機会損失を無くすため、①タイムリーに製品を供給する②日頃から人間関係を良くして、さまざまな調整業務をこなし、「生き馬の目を抜く」心境で頑張っています。

生産企画管理部(郡山)  
会田 稔



7年半、CCAにて日産・フォードオーディオのメカエンジニアを担当させて頂いた後、日産オーディオの経理マネージャーとしてCCA営業チームに異動しました。

クラリオンアメリカ  
エリック ケンドール



こんにちは! 私は頼美銀(Sophia)と申します。2008年2月にDCOE品質保証本部に入社して以来、フォード向けの仕事を担当しています。ゼロからスタートしてこの3年間、様々な経験をしてきましたが、CT及び、CCA、DCOEのFord PJJの皆様から沢山のサポートをいただきながら業務に従事できたこと、本当に感謝しています。現在クラリオンは多くの海外顧客を獲得しています。(DCOEとしては新規権限の)フランスPSAもその一つで、今後も新たな事への挑戦・努力を続けるつもりです。普段、私は週末、好んでスポーツをしています。特に山登りと水泳が好きです。もし、他に好きな方に向けて中国に来る機会があれば、一緒にいかがですか。

クラリオン中国(ドンガン)  
頼 美銀



札幌の拠点で入社後12年間市販営業に従事し、現在はCSM事業推進室に主に国内市販の宣材関係を担当しています。当社は日本国内アフターマーケット商品の販売とマーケティングを行い、私たちチームの業務は販売企画・営業支援・供給管理・宣材関係等と多岐に渡ります。北から南まで全国に営業拠点があり、仲間とのつながりも当社の大きな魅力です。クラリオンの情熱をもった仲間とともに、市場の声を未来の商品につなげる架け橋になりたいと思っています。

クラリオンセールスアンドマーケティング  
伊藤直樹

